

アスピリン喘息患者さんの保存検体と臨床情報の研究利用に関するお知らせ

現在、国立病院機構相模原病院アレルギー科では、「アスピリン誘発時におけるアスピリン喘息患者の血漿中microRNA網羅解析に関する研究」という研究を行っております。

この研究は、アスピリン喘息の発症メカニズムを、microRNAという小さな遺伝子断片を解析することで明らかにすることを目的としております。

この研究のため、①気管支喘息で当科に通院されており、これからアスピリン負荷試験（アスピリンに過敏に反応するかどうかを調べる試験）を予定されている方で血液を採取・解析させて頂ける方、②通院されたことのある気管支喘息の患者さんで過去にアスピリン負荷試験をされておりすでに同意を得て血漿（血液の成分）が保存されている方、上記①あるいは②の方を対象に、血漿の解析と、診療情報の調査を行います。使用する情報は、個人情報を含まない医学的な情報のみです。プライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありません。解析、調査したデータや結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌で報告されることがあります。

ご自身のデータを研究に利用する事を承諾されない方は、下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはございません。

この件に関しましてご不明な点、ご質問などがございましたら、遠慮なくご連絡下さい。

2020年5月

国立病院機構相模原病院 アレルギー科
研究代表者 上出庸介
（臨床研究センター 室長）
連絡先 042-742-8311 (代表)